

2020 国民民主党代表選挙 候補者

玉木雄一郎

「こども国債」による 子育て・教育予算の倍増で経済再生



新型コロナウイルス対策

当面の経済対策としては、コロナ不況を克服します。そのため、本年11月27日に策定した48兆円の追加経済対策の実現を図ります。

「子ども・若者」が希望を持てる社会

一国の未来をつくるのは子どもです。国民民主党は、「人への投資」とりわけ2010年以降に生まれた、いわゆる「α世代」に対する投資を党の政策の一丁目一番地に置いて取り組みます。そして日本を「世界一子どもを育てやすい国」、「子どもの笑顔が最も輝く国」にします。そのため、特に保育園への

「全入化」の実現、3歳からの義務教育化、高等教育に関する給付型奨学金対象者の大幅増（所得制限の撤廃）に最優先で取り組みます。その財源として、財政法を改正して「こども国債」を発行し、教育・子育てに対する公的支出をOECDでトップクラスに引き上げます。

「地方」が希望を持てる社会

都市の快適さと田園のやすらぎが両立する新しい国家構想「21世紀の田園都市国家構想」を進めます。そのため、①「全国どこでもWi-Fi」の実現による高速・大容量ネット環境の整備、②再生可能エネルギー等を中心とした自立分散型エネ

ルギー供給体制の確立、③地方空港・港湾整備による国内外から地方への投資・交流・経済取引の拡大によって、食料・エネルギー・環境分野を中心に、地方循環型の経済システムを確立します。

コドモノミクス・家計第一の経済政策

「人への投資」とりわけ「α世代」への投資拡大を経済全体の好循環につなげる「コドモノミクス」を積極的に推進します。教育や科学技術への投資拡大が最大の成長戦略であるとの信念のもと、関連予算を倍増させ、今後20年間で100兆円の追加投資を行います。

なお、これまでの「企業」最優先の経済政策を改め、子育て世代のみならず「家計」全体の負担を低減させることで家計の消費力を向上させ、消費を軸とした好循環をつくり出す「家計第一」の経済政策を進めます。

玉木 雄一郎（たまきゆういちろう）

昭和44年5月1日生まれ 51歳 酉年 O型

■出身地 香川県大川郡寒川町（現さぬき市）

■家族 祖母、両親、妻、息子（大学生）

■座右の銘 一所懸命 ■趣味 カラオケ、ギター、ピアノ

兼業農家の長男として香川県の農村で生まれる。県立高松高校を卒業後、東京大学法学部へ進学。陸上部で10種競技に打ち込む。1993年大蔵省（現財務省）入省。留学先の米ハーバード大学大学院で政治学を学び、2大政党の必要性を痛感。05年、投票日の1ヶ月前に退職し、衆院選に香川2区から挑戦するも、落選。4年間の浪人生活を経て、09年初当選、現在4期目。

玉木雄一郎とつながる



たまきチャンネル



@tamakiyuichiro



facebook.com/tamakinet55